

## “緑のじゅうたんプロジェクト” ～公民館の庭を芝生化する～

【概要】 公民館の庭に芝生を植え、地域の人たちが集える「幸せ空間」を作る。  
その芝生の庭で毎月1回、地域の人に呼びかけてガーデンパーティを開催する。

以下、質問形式でその内容を説明する。

Q1 なんのためにするのか？

A1 地域の人たちが気持ちよく集える場をつくることにより、地域のコミュニティを元気にする。

Q2 なぜ公民館なのか？

A2 公民館は地域にとって最も身近な公共施設。日本全国どこに行っても公民館は各地域にあり、ほとんどの区域をカバーしている。  
また、公民館ではさまざまなサークル活動などが行われており、身近な存在となっている。さらに、公民館の庭は広さがちょうどよく芝生も植えやすいし、交流の場としても利用しやすい。

Q3 なぜ芝生なのか？

A3 芝生があると居心地のよい空間になる。緑が目優しく、ガーデンパーティなどの交流の場として利用できる。地面に直接座ることもできる。子供たちも怪我を気にせず走り回れる。

Q4 芝生はコストがかかるのではないかな？

A4 ティフトン芝は繁茂力が強く、苗を植えるだけで、ほとんど維持管理の費用がかからない。2週間に1回程度、芝刈りをするだけで良い。芝苗も安価である。毎月1回の芝刈りを名目に地域の人たちに呼びかけ、その後ガーデンパーティを開催する。

A5 なぜガーデンパーティなのか？

Q5 一緒に飲食することは人と人とのコミュニケーションを深める一番の方法。屋外は解放感があり、気持ちがいいので、食事も美味しいし、幸せな気分になれる。一人暮らしの高齢者などにも積極的に声をかけて、来てもらう。庭の一角に耐火レンガでバーベキューコンロなどを作ると、なお一層利用しやすいし、雰囲気も盛り上がる。公民館で行われている各種サークル活動の懇親の場として利用してもらうのもいい。

【事例紹介】 T公民館(福岡県春日市)での取り組みを紹介する。(次ページ)





# "緑のじゅうたん"プロジェクト ～芝生化提案モデル事業～

## ■実施内容

公民館で  
芝生化のモデル事業  
を実施

## ■目的

コストや手間がどれだけ  
かかるのかを調査

## ■予想される効果

- ・コミュニティづくり (地域の人々の集う場)
- ・子どもの遊び場
- ・高齢者の居場所づくり
- ・健康づくり

## ■芝生化date

- 面積：140㎡ (約40坪)
- コスト：芝苗代 約5万円  
(ティフトン芝)
- 手間：水やりと芝刈り
  - ・水やり  
植栽直後：約1ヶ月は3日に1回  
それ以降：1週間に1回
  - ・芝刈り  
2週間に1回程度  
(植栽後2ヵ月後より実施)
  - ・施肥  
化成肥料を数回追肥

<植える前>



2010年3月



<植えた直後>



2010年6月26日



<2ヵ月後>



2010年8月